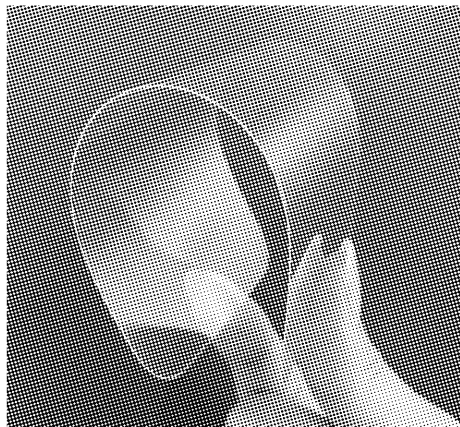


スマホ用保護ガラス NSC、自社ブランド



スマホ用保護ガラス「KIKKO」
(NSC提供)

NSC(大阪府豊中市、西山翔一郎社長)は、スマートフォン用保護ガラスの自社ブランド「KIKKO」を立ち上げ、16日からBツICC(対消費者)向けに展開する。液晶ガラス基板のケミカル加工などで培った高度な

技術を応用して開発した。初年度1万枚、2025年度をめぐって年間100万枚の販売を目指す。アマゾンで販売し価格は1枚2980円(消費税込み)。

保護ガラスは厚さ0.2mm、先端が5mm径の金属をガラスの角に当てる荷重をかける試験を実施したところ、他社製品の3〜10倍となる115kg以上の荷重に耐えられた。製造には薬液でガラスを化学的に溶かしカッターする手法を利用。機械加工に比べて、ガラスに小さなヒビが入りにくく高強度を実現した。さらにガラスを硝酸カリウムの液につけ400度C以上で加熱することで、ガラス表面に0.03mm程度の割れにくい強化層を生成。ガラスのひび割

れの進行を防ぐ。

米アップルの最新モデル「iPhone(アイフォン)14」の発売に合わせて製品を展開する。6・1、6・7、廉価版のSE(第2、3世代)の3種類のラインアップを用意。今後アンドロイドスマホで使えるタイプの生産も見込む。今後は他の電子商取引(EC)サイトや小売りによる販路拡大も視野に入れる。NSCはこれまで通信キャリア向けに商社を通じてスマホ用保護ガラスを納めてきた。